

## 第71回津久井地区まちづくり会議全体会結果

- ・日 時：平成31年4月16日（火）午後7時00分～8時45分
- ・場 所：津久井総合事務所3階第1・2会議室
- ・出席者：委員23名出席（1名欠席）
- ・傍聴者：0名

1 開 会 関戸副代表

2 あいさつ 落合代表

### 3 報告事項

#### （1）「あざおね社中と与する上青根の会」からの事業報告

平成29年度まで活性化事業交付金の交付を受けていた「あざおね社中と与する上青根の会」の代表から、交付期間中の事業展開と、交付期間が終了した後も活動を継続しているとの報告があった。

< 質疑 > （ 委員からの意見 意見に対する回答）

他の地域活動の成功事例の印象で、「地域が懸命に活動を行っている事でも専門的な見地から蓄積されたノウハウを持っている人が関わることで、簡単に事業の成果に繋がる印象がある。」とのことですが、ちなみに今回の事業では専門分野との連携は図られたのか。今回は専門の見地をもった人や団体は把握していない。よって連携はしていません。

### 4 協議事項

#### （1）地域活性化事業交付金について

平成31年度に交付金の交付を希望している団体のうち、新規事業者と継続2年目の団体がそれぞれプレゼンテーションを行った。

- ・新規事業の概要説明 （ 本文中の丸数字は事業番号）

高齢者の健康促進事業（Myかなまる）

[事業概要]

金丸地区は、津久井では比較的新しい住宅集合地域で、現在、住民の高齢化が進んでおり、かつ、坂がちな地形もあって、閉じこもりの増加が感じられる。

金丸地区を居心地のいい場所とするため、高齢者の心身の健康や、介護予防に向けた活動を実施する。

主に「100歳体操」は昨年から毎週第3水曜日に実施しており、毎回20名程度の参加がある。

今年3月まで「シナプソロジー」やレクレーション等を兼ねて脳トレを実施している。4月からは、指体操のほかカードを利用したテーブル脳トレを隔週で実施する。

また、4月から「歌おう会」として、地区内の楽器ができる高齢者の伴奏で歌の集いを実施。  
今後の予定として、「高齢者のための生涯学習サロン」で、シニア向けパソコン・スマホサロンの開催を予定。

年間の予算は概算で6万円を計上した。

<委員の意見> ( 委員からの意見 事業者・事務局等 )

予算の内訳は。

主なものとして、講師謝礼や保険、書籍、チラシ作りの際のインクカートリッジ等で6万円になります。

6万円では少ないのではないかと。

まだ、概算なので、当初は6万円です。今後、事業に変更があれば追って相談を受けるようにしたいと考えます。

非常によい活動だと思うが、100歳体操、脳トレ、歌おう会等、短期間でいくつかの事業が盛り込まれているが、事業は1つずつやっていくのか、平行してやるのか。

100歳体操は必須でやっていく。脳トレや歌おう会はサブメニューとして実施します。ひきこもり高齢者の把握はどうやっていくのか。

近所からの情報を得ていきたい。また事業を口コミなどで広めていきたい。時間がかかると思いますが根気よく続けていきたい。

社協との連携はどうですか。

社協とは連携しています。また、自治会とも連携できています。

他地区の方も民生委員を通じて入会希望があったが、現状は自治会からバックアップを受けているので、地域内を優先している。今後は他地域の方も受け入れできるように環境を整えていきたい。

・継続2年目の事業報告等

津久井こども食堂の開催（相模原市食生活改善推進団体わかな会津久井地区）

[事業概要]

2ヶ月に1回、日曜日に子供食堂を開催している。日曜日は子供が休みなので、自宅での孤食を防ぐこととした。

子供食堂の開催に併せ、紙芝居のボランティア等の参加もあり、食の支援だけではなく新たな担い手の発掘にも繋がっている。

<委員の意見> ( 委員からの意見 事業者・事務局等 )

支援が必要な事業だと考えている。2カ月に1回では少ないのではないかと。

総合的に見て、現状は2ヶ月に1回が妥当と考えています。

高校生以上の参加も可能となっているが、必要なのか。

ほとんどが小学生の参加になっている。

ただし、オープン参加を目指しているため、子供だけではなく、保護者への間接的な支

援も目指している。大人、子供を問わずに参加できるよう運営していきたい。  
補足します。子供食堂は貧困だけでなく、食事を通じて、大人への相談による自殺予防などの効果もあると考えます。

他地区の食堂と比較する参加状況はどうか、また食材はフードバンク等を活用しているのか。

横浜の例では、参加者20名前後を想定していると聞いている。

また、参加者0人の日もあるとのこと、出席率で言えば津久井は良いと考えている。  
食材は購入の他、フードバンクの活用や、実施メンバーの知人から譲り受ける等、確保に努めています。

・今年度の事業概要説明（及び の事業を除き事務局で説明）

花を植えよう事業（花を植えよう会）

[事業概要]

休耕地でコスモス等の花を栽培し有効活用を図りながら、地域の魅力を発信している事業で、コスモス園の開園を目指して準備をしていましたが、台風の影響により中止となった。今年度も引き続き事業を継続していきたい。

[結果]

継続して支援する。

道志川写真コンテスト事業（道志川写真コンテスト実行委員会）

[事業概要]

道志川流域の自然保護意識の高揚を図るとともに、住民の交流により地域活性化を図っている事業で、こうした取組みを継続することにより、津久井地域への来訪者の増加とともに津久井地域のPRに繋がっている。

[質疑] （委員からの質問 回答）

道志川写真コンテストは、地域内だけでなく対外的にPRしていますか。

市の広報や三太共和国のHP、展示については橋本のミウイ、宮ヶ瀬で実施しています。

[結果]

継続して支援する。

津久井湖城山イルミネーション事業（津久井湖城山イルミネーション実行委員会）

[事業概要]

各種地域団体との連携を図りながら、津久井地区の魅力づくりとともに、地域活性化を図っている事業。各種団体との連携として、津久井湖花火大会とのコラボレーションが図られ、さらなる華やかさを演出することができた。

また、津久井高校との連携をはじめ、今年度は、造形大学との連携も予定している。

[ 質疑 ] ( 委員からの質問 回答 )

津久井湖城山イルミネーションの開園時間で、通常は実施場所の観光センターは17時に閉まると思いますが、イベント中の時間は延長しているか。

閉園時間を21時に延長しています。

22時まで延長はできないのか。

警備の関係で21時が門限となっています。

[ 結果 ]

継続して支援する。

里山を活かした子どもの遊び場と大人のコミュニティスペース(土沢森あそびの会)

[事業概要]

地域の里山を保全しながら、子どもも大人も楽しめるコミュニティスペースとしての森(場づくり)を目指している事業。

毎年度、企業等からも補助金を確保し、自主財源の確保にも努めている。

[ 結果 ]

継続して支援する。

休耕田を復活し、災害に強い棚田を守る事業(農園会)

[事業概要]

休耕田の活用により、有害鳥獣等の被害を減らし、住民同士のコミュニティ形成や、若い世代への農業体験を目的としている事業。

地域外の方との交流を図りながら、地域を元気にするための取り組みを実施している。

[ 結果 ]

継続して支援する。

自治会退会抑制及び自治会加入促進事業(津久井地区自治会連合会)

[事業概要]

津久井地区の自治会加入率の低下を抑制し、加入促進を目的とした事業。

平成30年度にはイベント等で使用するPR用ののぼり旗と、防災意識向上を目的に防災カレンダーを作成し、カレンダーについては、自治会未加入世帯にも配布し、加入促進を図った。今年度は、防災カレンダーを引き続き作成し防災意識の向上と加入促進をしていきたい。

[ 結果 ]

継続して支援する。

<委員の総合的な意見>

( 委員からの意見 事務局等 )

事業ごとに見ていくと、連携できるような事業もあると思います。

団体ごとの連携は、まちづくり会議でのサポートも考えていかなければいけないと思う。

また、自治会加入促進についても攻めの姿勢で積極的に取り組んでほしい。

団体ごとの連携については、今後、事業の中間報告の際も、それぞれの団体が同席して報告会を実施する等工夫し、他の団体活動を知る機会を作るようにしていきます。

その他、今回交付予定の9事業の他、新規の交付相談が2件あり、事業内容を事務局で精査した結果、保留としたことについて報告した。

## 5 その他

・平成31年度（令和元年度）の事業計画（案）について

次回の全体会日程を含め、平成31年度（令和元年度）事業計画の事務局案を提示し、次回の全体会で協議することとした。

事業計画のうち、次回全体会の日程と10月29日開催予定の「まちづくり懇談会」については、決定事項として伝えた。

・まちづくり委員のうち、選出母体の任期により退任する委員5名について、退任の挨拶を行った。

### 連絡事項

次回の全体会日程 日時：令和元年5月21日（火）午後7時～

場所：津久井総合事務所3階 第1・2会議室

自転車ロードレース競技にかかるパンフレットを配布し、周知を図った。

## 6 閉 会 高井副代表

以上